

を目的に、令和4年度から実施している。「伴走型相談支援」として、妊娠届け出時、妊娠8カ月時、産後の3回の面談が、本事業給付の必須項目と定められており、妊婦や産婦との相談の機会として活用している。

4月からは制度改正により、必須項目ではなくなるが、これまで同様に行なっていく。

◎環境保全対策事業

【質疑】各委託業務の詳細と、前年度から減額となった理由は。

【答弁】委託料の主なものは「公共用水域水質検査委託業務」で、市には法令による検査義務はないが、苦情対応等のデータ収集等も兼ねて自主的に市内の河川、用水路、川原子ダム等28カ所で行なっている。

実績を踏まえ、予算額を精査し、減額となったものである。

農林水産業費

◎新規就農者育成総合対策事業

【質疑】事業の目標と期待する効果は。

【答弁】次世代を担う農業者を志す、経営開始直後の新規就農者に対し、早期の経営確立を目指す事業である。関係機関により構成されるサポートチームと連携し、適切な助言や指導を行うことで、早期離農を防止する効果が期待される。

商工費

◎物価高騰対策割増商品券事業

【質疑】割増商品券の内容と実施期間、委託先は。

【答弁】エネルギー・食料品価格等の物価高騰による本市経済への影響を改善するため、3割増商品券を販売するもので、額面1万3千円を1万円で、2万3千セットを7月上旬に販売し、12月末の利用期限を考えている。本事業は、市内飲食店や小

売店等を利用店舗とすることから、市内事業者に精通する白石商工会議所への委託を検討している。

土木費

◎橋梁長寿命化対策事業

【質疑】白石駅歩道橋修繕工事の進捗状況と完成時期は。

【答弁】令和6年8月より歩行者の通行止めを行い、仮設足場を設置、塗装の剥離作業が完了し、現在(3月)は、さびを落とす研磨作業を行なっている。

令和7年4月頃から歩道橋の鋼製部材の補強や塗装などの補修作業に着手し、令和7年度末に完了予定である。

消防費

◎消防施設整備事業

【質疑】消火栓設置工事負担金の詳細は。

【答弁】市内9カ所に消火栓を新設するための工事負担金で、スマートインターチェンジ関連事業の新設が5カ所、既設防火水槽の老朽化等による代替設置が4カ所である。

教育費

◎地域スポーツクラブ活動体制整備事業

【質疑】成果の見込みと委託料の算定根拠は。

【答弁】中学校の休日部活動を地域のスポーツクラブに移行する実証事業を、東中学校を拠点校として実施しており、令和7年度は、白石中学校や福岡中学校でも計画している。

委託料は、コーディネーターの人件費、地域指導者への謝金、活動に参加する生徒や指導者の傷害保険料などを基礎として算出している。

特別会計

国民健康保険事業

【質疑】一般会計繰入金が、前年度から1717万8千円の減額となった理由は。

【答弁】被保険者数の減少により、保険基盤安定繰入金が約190万円、職員給与費等繰入金が500万円減額となったものである。

介護保険事業

【質疑】認知症初期集中支援事業の詳細と、期待できる効果・課題は。

【答弁】仙南サナトリウム+（プラス）への委託による、専門医、精神保健福祉士、社会福祉士、地域包括支援センターの保健師、社会福祉士でチームを構成し、支援を行う事業である。

おおむね40歳以上の「認知症が疑われる方」「認知症で必要なサービスに結びついていない方」を対象に、相談があった際は家庭訪問を行い、訪問後はチーム会議を開催し支援の方針を検討している。

早期に専門チームを編成することで、認知症の早期診断と